

年 組 名前：



深沢美恵子さん

「赤毛のアン」の翻訳で知られる甲府市出身の翻訳家・児童文学者、村岡花子の足跡をたどった「花子とアン」村岡花子の甲府時代」が刊行された。著者は山梨英和学院史料室長の深沢美恵子さん。甲府を「花子が」人生の志を立て、青春と結びついた大切な場所」ととらえ、花子の随筆を交えながら、甲府で過ごした時間を追った。

村岡花子の土台 甲府時代

深沢美恵子さん(山梨英和学院)が新著

「花子とアン 村岡花子の甲府時代」

始まっていた初恋に触れ、当時の心境や結婚相手に求めるものなどがうかがえる随筆を紹介。時代背景も踏まえながら、富士登山や山梨ゆかりの人の交友、婦人参政権運動をリードした市川房枝らとの出会いがあったこともつづった。

花子は初の作品集「爐邊」の出版を機に甲府を去る。深沢さんは、本のタイトルにつながった生徒宅での炉端の記憶をはじめ、甲府の自然環境や日常に花子が抱いていた思いを、随筆を基に読み解いた。上京後の教え子らとの交流も描いた。

深沢さんは花子の随筆にひかれ、15年かけて関連資料を収集したという。どの作品もさりげなく書かれていて、現代の価値観でも古いと感ぜない」と語る。「花子は甲府に在る間にいろいろな人との出会いがあり、書きたい思いも募らせた。人生の土台となった甲府時代を広く知ってもらいたい。」

教文館刊、990円。

〈杉原みずき〉

(2021年6月12日付 山梨日日新聞9面)

問1

「村岡花子は ① で生まれ、都内の女学校卒業後の ②年 ~ ③年 に ④ で教壇に立った。『 ⑤ 』の翻訳でも知られている」。①~⑤に言葉や数字を入れてください。

- ① 「 」 ② 「 年」 ③ 「 年」
 ④ 「 」 ⑤ 「 」

問2

村岡花子が出した初の作品集のタイトルは何か、正しいものに○を付けてください。

- 「 」母の生活 「 」わが少女の日 「 」爐邊 「 」友情論

問3

「花子とアン 村岡花子の甲府時代」を執筆した深沢美恵子さんは、村岡の随筆などについて、どのように感じていますか。書いてください。

.....

.....